

## すてきなおせっかい

千葉県 新松戸西小学校 3年 石山 美乃莉

ある日、家ぞくで電車に乗ったときのことです。ドアの近くにみんなで立っていると、たくさんの買い物ぶくろをもったおばあさんが乗ってきました。電車は少しこんでいて、立っている人もいましたが、一つだけすわれるせきがありました。おばあさんはそれに気づかず、入り口のそばに、荷物をおいて、「ふうー」と、つかれたような様子でした。

そのとき、おばあさんのむかひに立っていたおばさんが、おばあさんに声をかけました。

「ほら、おばあちゃん、あそこ、あいてるわよ。すわらせてもらったら？」

するとおばあさんは、あいているせきがあることにはじめて気づき、

「あら、本当だね、ありがとうね。」

と言って、おいていた荷物を手にもち、いどうしようとなりました。でもそのとき、ほんたいがわドアから乗ってきた男の人が、そのせきにすわってしまったのです。男の人はおばあさんとおばさんのやりとりを知りません。わたしは心の中で、(あーあ、おばあちゃん、すわれなくなっちゃった)と思いました。おばあさんも男の人がすわったのを見て、元の場所にもどろうとしました。

そのときです。一度はすわった男の人がすっと立ち上がり、おばあさんにむかって、

「どうぞ、どうぞ！！」と言ったのです。おばあさんは、

「ありがとうございます。すみませんね。」

とニコリわらってお礼を言いました。男の人は、さいしょにおばあさんがいた入り口のところに立ちました。

さっきのおばさんが、

「ごめんなさいね。わたし、あそこあいているわよって言ったもんだから。」

と男の人に言いました。男の人は、

「いえいえ、いいですよ。」と言いました。おばさんは、

「わたし、本当におせっかいなのよねー。」

とわらいました。すると男の人は、

「いやいや、すてきなおせっかいじゃないですか。」とえがおで話しました。

おばさんもおばあさんも男の人も、もともとはみんな知らない人です。たまたま同じ電車の同じ場しょに乗ってきただけの人です。でも、今ではみんながえがおになりました。おばさんのえがおは、お日さまみたいにぱかっと口があいて、わたしもえがおになりました。

電車をおりたあと、

「すてきなおせっかい、っていい言葉だね。」と、お母さんが言いました。わたしも、

「うん！そうだね。」と答えました。

わたしも、すてきなおせっかいができる人になって、お日さまみたいなえがおで、みんなをやさしい気持ちにできたらいいなと思いました。